

ゆっくり、じっくり、
マンゴーと歩く
～鹿追町で見つけた
私の新しい日々～



金澤 里奈 (かなざわ りな)

北海道札幌市出身。アパレル、動物看護師、バーテンダー、テレフォンアポインターなどに従事。2023年4月から鹿追町地域おこし協力隊に着任し、マンゴー栽培に取り組んでいる。

【念願のマンゴー栽培への挑戦】

私は今、鹿追町の地域おこし協力隊として、町内で進められているマンゴー栽培のお手伝いをしています。北海道でマンゴー、と聞くと「えっ？」と驚かれる方が多いのですが、私自身も最初は同じ気持ちでした。もともと私の中には「いつかマンゴーを育ててみたい」という強い思いがありました。そんな折、ちょうどこの町で新しい担い手を必要としているタイミングに出会い、不思議なご縁に導かれるようにして、大切なバトンを受け継ぐことになったのです。今日は、そんな私の鹿追町での暮らしと、協力隊としての日々についてお話ししたいと思います。

私が鹿追町へやってきた一番の理由は、シンプルに「マンゴーを作りたい」という強い思いがあったからでした。前職で都市部の忙しさに身を置いていたころ、ふと自分の将来を見つめ直し、本当に挑戦したいことは何だろうと考えた時、心に浮かんだのがマンゴー栽培でした。そんな時に出会ったのが、この鹿追町のプロジェクトです。北海道でマンゴーを育てるという、一見すると不可能にも思える大きな挑戦。そして、新しい担い手を必要としていたタイミング。地域おこし協力隊という形は、私にとってこの夢を現実にするための、最高のご縁でした。

【この町のマンゴー作りに惹かれて】

鹿追町で挑戦しようと決めた大きな理由は、この町が取り組んでいる「エコエネルギーを利用したマンゴー栽培」というプロジェクトそのものに、強く惹かれたからです。初めてこの地を訪れ、どこまでも続く広い空と真っ直ぐな道を目にした時、ここでならマンゴー作りに真っ向から打ち込めると確信しました。町の方々も、マンゴーへの情熱を持つ私を温かく迎え入れ、「一緒に盛り上げていこう」と背中を押してくださいました。



1本1本枝を吊って整える「誘引作業」

【ハウスで過ごす、新しい毎日】

着任してからは、ハウスでの作業が中心の毎日です。マンゴーは南国の果物なので、温度や湿度の管理がとても大切です。鹿追町の冬はとても寒いので、ハウスの中はまるで別世界のように暖かく、時々「ここは本当に北海道かな」と思うこともあります。最初のころは、葉っぱの色の変化に気づけなかったり、水の量を間違えてしまったり、失敗ばかりでした。でも、町の担当の方や農家さんが丁寧に教えてくださり、少しずつマンゴーの様子が分かるようになってきました。

マンゴーの樹はとても繊細で、ちょっとした変化にも敏感です。猛暑の影響で、花がなかなか咲かなかったり、心配になることも多いのですが、毎日見ていると、少しずつ成長しているのが分かります。つぼみがふくらんできた時や、実が大きくなってきた時、小さなことでも嬉しくて、つい誰かに報告したくなります。そんな瞬間が、私にとってのやりがいです。

【町の人たちの支えと、栽培の難しさ】

鹿追町での暮らしは、自然と人の温かさに支えられています。ご近所の方に「マンゴーどう？」と声をかけてもらえたり、町の人たちとの距離が近いことが嬉しく感じます。学生さんたちにマンゴーの話をした時には、「北海道でもマンゴーできるの？」と目を輝かせて聞いてくれて、その反応がとても励みになりました。

もちろん、困ることもあります。北海道の冬は想像以上に厳しく、外は吹雪でもハウスの中は暖かく保たなければならないので、設備の管理は大変です。また、マンゴー栽培の前例が少ないため、参考にできる情報が限られており、試行錯誤の連続です。でも、その分うまくいった時の喜びは大きく、初めて実がついた時は、思わず写真を撮って何度も見返してしまいました。



ハウスに咲くマンゴーの花

【鹿追マンゴーを、もっと多くの人へ】

これからの目標は、鹿追町のマンゴーをもっと多くの人に知ってもらうことです。まだ生産量は少ないですが、丁寧に育てたマンゴーを味わっていただき、「北海道でもこんなにおいしいマンゴーができるんだ」と感じてもらえたら嬉しいです。また、マンゴーを使ったスイーツや加工品づくりにも挑戦してみたいと思っています。観光と組み合わせた体験イベントなど、町の魅力を広げる取り組みもできたらいいなと考えています。

【マンゴーと一緒に成長していきたい】

鹿追町での生活は、私にとってとても心地よいものです。朝の空気は澄んでいて、季節ごとに景色が変わり、自然の中で深呼吸するだけで気持ちが落ち着きます。協力隊としての活動は、私に新しい視点や学びを与えてくれました。これからも、マンゴーと一緒にゆっくり成長しながら、鹿追町の一員として地域に貢献していきたいと思っています。



一つひとつ、大切に。収穫まであと少し！



十勝の太陽をたっぷり浴びた鹿追のマンゴー